



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

株式会社ロッテ

2025年7月18日(金)

埼玉県入間郡三芳町、三芳町歯科医師会、ロッテ 「三芳町民の歯と口の健康づくりの推進に関する連携協定」を締結

株式会社ロッテ(東京都新宿区 代表取締役社長執行役員:中島 秀樹 以下 ロッテ)は2025年7月17日(木)に、三芳町(埼玉県入間郡三芳町 町長:林 伊佐雄 以下 三芳町)、三芳町歯科医師会(埼玉県入間郡三芳町 会長:清水 学)と「三芳町民の歯と口の健康づくりの推進に関する連携協定」を締結いたしました。

三芳町民の口腔内環境の維持・改善によって、健康寿命を延伸し、健康で元気な笑顔があふれる人生を送れることを目的に、三者が連携・協働し、三芳町民の歯と口の健康づくりの推進に取り組んでまいります。



2025年7月17日(木)三芳町役場で実施された協定締結式の様子
(左から) 三芳町歯科医師会 清水 学会長、三芳町 林 伊佐雄町長、ロッテ 大豆生田 吾郎

●本協定の主な内容

1. 歯と口の健康を通じた町民の健康づくりの推進に関すること。
2. 「噛むこと」の大切さの普及啓発に関すること。
3. 子どもの健全な口腔機能の発育に関すること。
4. 災害時における物資提供を含めた被災者支援に関すること。
5. その他、協定の目的を達成するために必要な事項に関すること。

* ロッテは、1948年の創業以来培ってきた「噛むこと」や「キシリトール」「咀嚼チェックガム」などを、様々なツールとして活用することで、三芳町民の歯と口の健康づくりに貢献していきます。

⇒次のページに協定締結式の概要とロッテ埼玉支店 支店長 大豆生田 吾郎のコメントを掲載しております。



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロット」

●協定締結式

1. 実施日 2025年7月17日(木)
2. 実施場所 三芳町役場
3. 出席者 三芳町 町長 林 伊佐雄(はやし いさお)
三芳町歯科医師会 会長 清水 学(しみず まなぶ)
ロッテ 埼玉支店 支店長 大豆生田 吾郎(おおまめうだ ごろう)

●ロッテ 埼玉支店 支店長 大豆生田 吾郎コメント

今回、三芳町様、三芳町歯科医師会様と、三芳町様が目指す「町民の健康の保持増進及び健康寿命の延伸を図り、子どもから高齢者まで健康で元気な笑顔があふれるまち」の実現を図ることを目的に、三者協定を締結しました。オーラルフレイル対策や、成人の方々を対象とした歯と口の健康啓発活動、幼児期の口腔機能の発達やむし歯予防など、全年齢的な取り組みについて、ロッテ独自の強みや技術を活かし、皆様の健康づくりの推進に貢献したいと考えております。

当社のサステナビリティ目標「[ロッテ ミライチャレンジ 2048](#)」では、「噛むこと」による健康増進の普及を目標のひとつに掲げており、「噛むこと」と健康に関する研究と啓発活動を推進しています。また、キシリトールを用いた幼児期のむし歯予防などの活動にも取り組んでいます。

さらには、三芳町様へ災害発生時の二次災害による健康被害軽減対策のため、口腔の健康を守るツールとしてキシリトール配合のガムやタブレットをご提供させていただくなど、三芳町歯科医師会様と連携して物資提供等も含めた被災者支援に関しても実施いたしたく存じます。

6つのマテリアリティと目標



ロッテ ミライ チャレンジ 2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと



心身の健康



持続可能な
調達



サーキュラー
エコミー



脱炭素



社会とつながる



人財

2028年度目標

- 噛むことによる健康増進の普及に努め、咀嚼チェックガムによる咀嚼能力評価回数を年100万回以上に増やす

2038年度目標

- 噛むことによる健康増進が当たり前の社会を実現する
- 製品・サービスをウェルビーイングに貢献できるようアップデートさせる

2048年度目標

- ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる

参考資料 オーラルフレイルとは？

オーラルフレイルとは「お口のささいな衰え」のことを意味します。口腔機能のささいな衰えを放置したり、適切な対応を行わないままにしたりすると、栄養のバランスが崩れ、全身の衰えにつながると考えられており、“老化のはじまりを示す重要なサイン”として注目されております。

実際に、高齢者を対象に口腔機能をチェックし、継続的に調査をしたところ、オーラルフレイルの人は2年後の「身体的フレイル」、「サルコペニア」などの身体機能低下、そして4年後の「要介護認定」「死亡」のリスクが約2倍に高まるという結果が報告されております。